

志賀原子力発電所 2号機 放水放射線モニタ等の指示不良について

志賀原子力発電所 2号機は、定格電気出力にて運転中のところ、7月26日(土) 19時38分頃、中央制御室の放水放射線モニタ^{*1} 及び液体廃棄物処理系排水モニタ^{*2} の指示が急激に低下し、値を表示しなくなりました。

原因は両モニタからの計測値を中央制御室の指示計に伝送する装置内の基板の故障であり、基板を予備品と交換し、両モニタの指示値は通常値に復帰しました。

なお、外部への放射能の影響はありません。

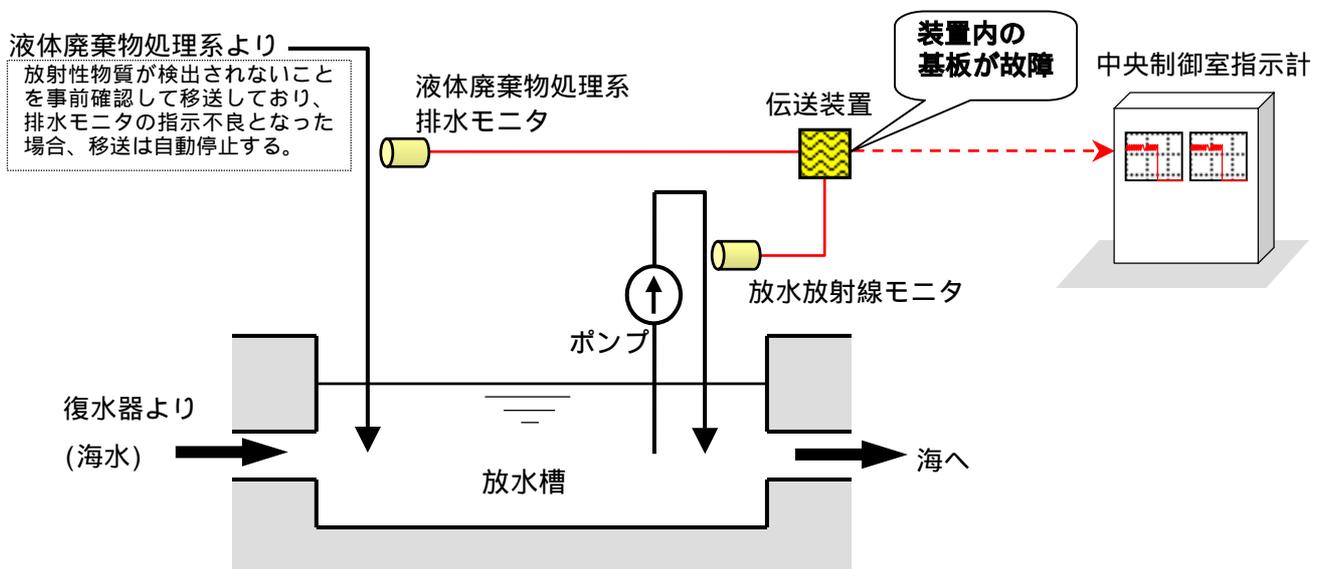
以上

* 1: 放水放射線モニタ

放水槽にある海水の放射性物質の濃度を連続監視する放射線モニタ。

* 2: 液体廃棄物処理系排水モニタ

放水槽へ移送する液体廃棄物処理系の排水の放射性物質の濃度を連続監視する放射線モニタ。



系統概略図